

第1回 市民ワークショップ 「芋井地区の将来、こんな地域をつくりたい」 をテーマにグループ討議を行いました

回覧

5月21日（土）芋井支所で「芋井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ」を開催しました。

ワークショップでは、はじめに市から、小学校を中心とした芋井地区の公共施設の現状や人口推計などについて説明し、そのあとに「地区の将来、こんな地域をつくりたい」をテーマにグループ討議と発表を行いました。

ご参加いただいた皆さまには、熱心にご討議いただき、ありがとうございました。

グループ討議の様子です



なごやかな雰囲気の中、色々な意見が出されました

	開催日	内容(予定)	会場
第2回	6月 4日(土)	グループ討議テーマ「 公共施設でしたいこと、施設の活用方法 」	小学校 第一分校
第3回	6月11日(土)	グループ討議テーマ「 運用面からみた、将来の公共施設再配置のかたち 」	芋井公民館
第4回	7月 2日(土)	意見発表、まとめ	芋井公民館

いずれも時間は午後2時から4時です。

ワークショップは公開です。興味をお持ちの方は、ぜひ会場にお越しください。グループ討議への飛び入り参加も大歓迎です。



【お問い合わせ先】

行政管理課 公共施設マネジメント推進室

電話:224-8402

芋井支所 電話:232-7935

各グループから発表された主な意見をご紹介します



【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆皆が集まれる場所や機会が減った。地域の人も外の人も関心を持ってくれるようなイベントを開催する。住民が誇れる地域の文化が必要
- ◆飯綱との協働で、観光のまちづくりなど活性化につなげる
- ◆芋井と飯綱を結ぶ県道の拡幅など、インフラ整備を進める
- ◆小学校第一分校はもったいない。活用方法を考える

【Bグループ】 地域のリーダー世代の皆さん

- ◆桜の里、りんごの里といったブランド化で地区のイメージアップを図る
- ◆移住したくなるまち、安心して子育てできる地区にして、田舎暮らしの好きな人を受け入れる
- ◆空き家、休耕地などの遊休資産を活用する。田舎料理の店をつくる
- ◆高齢者向けの憩いの場所や施設が欲しい。その施設は、小学生とふれあえる施設が良い

【Cグループ】 働き盛りのお父さんお母さん

- ◆支所周辺、影山周辺、飯綱周辺がもっと交流して協力し合える芋井地区にする
- ◆みんなが集まって交流できる施設があると良い。車が運転できないお年寄りも生活しやすいインフラ整備を図る
- ◆今住んでいる我々が楽しいと思える地域であれば、外の人も住みたいと思える
- ◆もっと便利にして欲しい人と、不便を承知でのんびりした生活を望んでいる人が、双方満足できる地区にしたい

【Dグループ】 子育て中の女性と地域おこし協力隊

- ◆芋井地区の自然は誇りであるが、自然すぎて大変（野生鳥獣、草刈・除雪）
- ◆空き家等住む場所はあるので、若者を呼び込む。地区の役を若者に押し付けない配慮が必要
- ◆観光やりんごづくりなどの雇用はある。若者が挑戦できる職場をつくる
- ◆子どもの保育・教育施設は残して。小学校の中に児童センター・保育園を一体化する。通学路整備やスクールバス導入を図る

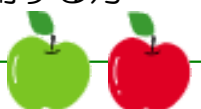
【Eグループ】 信州大学工学部の学生の皆さん

- ◆芋井の価値や魅力をつくり、高めていく。市街地へ近い立地を生かしたベッドタウンも可能
- ◆大学生など若い人が住んでいる、住んでいることが分かることで、同世代が住みやすくなる資金面の援助も有効では
- ◆住民が一同に会する施設や、長野一戸隠間に道の駅などのインフラと、自然を生かした若者が楽しめるアクティビティを作る
- ◆山村、農村、自然を生かして交流人口増を図る

終了後のアンケートで「年代別のグループ分けが良かった。色々な意見が聞けて参考になった。もっと時間が欲しかった。次回も楽しみ」といった声がありました。

次回のワークショップでは、「公共施設を使ってやりたいことや、施設を有効活用する方策」などについて、グループ討議を行い、結果を発表していただきます。

第2回目と第3回目の結果は、また来月、回覧でお知らせします。



第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

6月4日（土）芋井小学校第一分校で、2回目の「芋井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ」を開催しました。

今回、アドバイザーの前橋工科大学の 堤洋樹 准教授の進行で、第一部で「公共施設でしたいこと」を出し合いました。続く第二部で「したいことのために公共施設をどう利用するか」をテーマに、全グループが第一分校を選んで、分校のどこで何が出来るか話し合いました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ討議のあと、堤先生からのアドバイスを聞きました



小学校分校の中も見学しました



堤先生のアドバイスの一部をご紹介します

- ★「欲しいもの、あれば良いもの」を考えるのではなく、まず「したいこと」を考えてみよう。
- ★例えば、図書館が欲しいと思ったら、図書館で何がしたいのか？と考えてみる。
図書館で「本が読みたい」として、少し考えると「図書館でなくても本は読めるのでは？」と気づく。
何で本が読みたいのか？と考えてみると、「知識を得たい・勉強したい」とした場合、本が無ければ勉強できないのか・・・と考えていくと、施設ありきではない、本当に必要なサービスが見えてくる。
- ★公共施設は行政が作って管理するものだみんな思っている。しかし、公共施設は市民の税金で作る、市民のもの。だから、本来は市民が作って市民が管理するもの。それが出来ないから行政が代わりに管理していることに気づくと、公共施設マネジメントは自分の問題だと分かる。
- ★「市民対行政」ではなく、「市民＝行政」一緒に考える問題。
- ★地域全体で公共施設の活用を考えると、地域生活は良くなる！！

いよいよ次回7月2日は最終回。各グループの意見発表会です。ぜひ会場の芋井公民館にお越しください。



日程により2回目と3回目との結果を一緒に回覧していきます

【お問い合わせ先】
 行政管理課 公共施設マネジメント推進室
 電話：224-8402
 芋井支所 電話：232-7935

各グループから発表された「公共施設でしたいこと」 主な意見をご紹介します

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆世代や地域を越えた交流がしたい。そのために、いろいろな人が興味を持ち参加できるイベントを開催したい
- ◆地域の郷土歴史もふくめて、勉強したい
- ◆キノコや山菜など、地域の特産物を「採る」「売る」「調理する」ことで楽しみたい
- ◆昔の早起き野球大会のように、地域で盛り上げられるスポーツ大会

【Bグループ】 地域のリーダー世代の皆さん

- ◆地域の歴史を学ぶ。地域の人と飲み会、懇親会、食事会したい
- ◆趣味（囲碁、将棋、カラオケなど）をみんなでやりたい。老人施設を設置したい。
- ◆地域外の人との交流。子どもたち、学校と交流したい。交流の中から新しい事業を考える
- ◆若い人に来てもらってコワーキングスペース（共同仕事場）を作りたい

【Cグループ】 働き盛りのお父さんお母さん

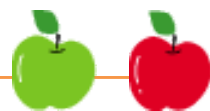
- ◆星や虫を鑑賞したい。バーベキューなどアウトドア活動をしたい
- ◆みんなで楽しくお酒を飲みたい。
- ◆大人がプールで泳げる場所があるといい。バレーボールやボウリングなどスポーツ
- ◆六次産業（一次産業である農林業が、加工・販売といった二次産業や観光など三次産業にまで踏み込むこと）を立ち上げたい
- ◆料理教室。サテライトオフィス（本社から離れて勤務できる場所）

【Dグループ】 子育て中の女性と地域おこし協力隊

- ◆神楽が一同に会する機会がほしい。音楽祭、芋井ズンチャカ
- ◆ドラム缶風呂＝芋井の湯
- ◆りんご品評会、たけのこのあく抜き会
- ◆リトアニアとの交流（一校一國運動）。パブリックビューイング
- ◆若者が集える空間が欲しい。宿泊体験させたい

【Eグループ】 信州大学工学部の学生の皆さん

- ◆ギネス記録への挑戦
- ◆利き酒大会。フリーマーケット。星空観察
- ◆キャンプ。虫取り、魚とり、バードウォッチング。写真撮影会
- ◆物々交換。文化体験。外国人に英語を習いたい
- ◆囲碁、将棋。陶芸
- ◆DIY（日曜大工など、自分でものづくりや修繕を行う）。農業体験



第2回目の様子は、インターネットテレビ「愛TVながの」でご覧いただけます。
長野市公式ホームページからアクセスしてご覧ください。

終了後のアンケートでは「分校の見学が出来て話が出やすかった。講師の先生の話が良かった。参加して楽しかった」といった声と「討議内容がどの程度具体化されるのか。自治協の案をどうするか討議したほうが建設的」といった声をいただきました。

3回目のワークショップでは、具体的な「公共施設の再配置」についてグループ討議を行い、4回目（最終回）に結果を発表していただきます。

市民ワークショップの結果をお知らせします

6月11日(土) 芋井公民館で、3回目の「芋井地区の公共施設について考える市民ワークショップ」を開催しました。

今回のテーマは「運用面から見た将来の公共施設再配置のかたち」。

第一部で小学校第一分校以外の公共施設(小中学校・支所周辺施設)で「したいこと」と「私たちにもできること」を話し合っていました。

第二部で「一部の施設を減らせるとしたら、どこが減らせるか。減らす施設でしたいことは、別の施設に移せないか」を考えていただきました。

これまでのワークショップの積み重ねを踏まえて、次回のワークショップでは、将来の公共施設再配置の提案について、各グループの意見発表を行います。

芋井地区(学校周辺)の公共施設

主な公共施設	建築年(経過年)	床面積(構造)	備考
芋井支所	昭和53年(38年)	313㎡(鉄骨造)	JAから借地 耐震診断未実施
芋井農村環境改善センター		536㎡(鉄骨造2階)	
芋井公民館	平成2年(26年)	636㎡(鉄骨造2階)	
芋井保育園	昭和59年(32年)	392㎡(鉄骨造)	
芋井児童センター	昭和46年(45年)	300㎡(木造)	
芋井社会体育館	昭和62年(29年)	561㎡(鉄骨造2階)	
旧芋井中学校・北校舎	昭和43年(48年)	828㎡(鉄筋C造2階)	閉校、耐震性なし
〃 南校舎	昭和53年(38年)	946㎡(鉄骨造2階)	閉校
〃 体育館	昭和46年(45年)	552㎡(鉄骨造2階)	閉校
芋井小学校・校舎	昭和52年(39年)	1,708㎡(鉄骨造3階)	H25耐震化
〃 体育館・特別教室棟	平成3年(25年)	1,230㎡(鉄骨造2階)	
芋井小学校第一分校・校舎	平成8年(20年)	964㎡(木造2階)	休校
〃 体育館	昭和60年(31年)	421㎡(鉄骨造)	休校
芋井消防分団詰所	平成2年(26年)	62㎡(木造)	床に傷み
芋井校長用住宅	昭和49年(42年)	93㎡(コンクリートブロック造2階)	解体予定

いよいよ次回7月2日は最終回。各グループの意見発表会です。ぜひ会場の芋井公民館にお越しください。

◆ 7月2日(土)14:00~16:00 芋井公民館2階集会室です



日程により2回目と3回目の結果を一緒に回覧していきます

【お問い合わせ先】

行政管理課 公共施設マネジメント推進室

電話:224-8402

芋井支所 電話:232-7935

グループ討議終了後のアンケートで いただいた主な意見をご紹介します

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆分校、中学校など現在使われていない施設の利用方法について話し合いがほしい
- ◆本日の話し合いで分校以外の施設が全体的に見えてきた気がする
- ◆地域全体が一箇所に集まるのは大変なので、分散するのも方法では
- ◆若い人たちの発想が面白い。施設より機能の大切さがわかった

【Bグループ】 地域のリーダー世代の皆さん

- ◆もっと考える時間があつたほうがよかった。施設を使う人の意識改革が重要だ
- ◆前回と同じような内容であった。次回に期待したい
- ◆アイデアが色々出され、自分たちが地域で生きていくうえで参考になった
- ◆今後の再配置にあたり、機能を考えることは重要だが、周辺立地の指定等にも配慮が必要

【Cグループ】 働き盛りのお父さんお母さん

- ◆施設の使用目的や、どのような人が利用するかを踏まえて、利用しやすい施設配置が必要
- ◆具体的に考えれば考えるほど難しさも、地域に対する思いの強弱もはっきりしてくる
- ◆他の施設でできることは一箇所に集約することが望ましいが、この中山間地で安全な場所はどこのか
- ◆回を重ねるごとに具体的な案がたくさん出てきて良かった
- ◆施設に対する見方が変わっていくのが分かる

【Dグループ】 子育て中の女性と地域おこし協力隊

- ◆他のチームの意見も聞いて、建物のことも考えられた。反面まだ現実的に考えられていないと感じ、これからしっかり芋井の未来を考えなければと思った。
- ◆後半のテーマだけで話し合った方が良かったのでは。話し合いの目的・テーマが分かりづらいように感じた。
- ◆次回4回目が発表だと、地域の意見を聞くという意味で内容が薄いと思う

【Eグループ】 信州大学工学部の学生の皆さん

- ◆時間が短く、意見をまとめ切れなかった。発表は一回でよかったのでは
- ◆ほとんどの機能が、他の施設に移せることに驚いた
- ◆土地活用や、土地利用のために施設をどのようにしようかという話に触れて、その土地の特色が分かった気がする
- ◆元々あった施設だと、どうしたら良いか良く分からなかった

参加メンバーからいただいたアンケートで、ワークショップの進め方などに、ご要望をいただいています。今回の市民参加によるワークショップは、長野市で初めての試みですので、皆さんからいただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

この回覧をご覧いただき、ご意見・ご要望などありましたら、行政管理課または芋井支所までお寄せください。

次回の意見発表の結果は、7月下旬に回覧でお知らせしますのでご期待ください。

